

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年11月13日(2014.11.13)

【公開番号】特開2014-159478(P2014-159478A)

【公開日】平成26年9月4日(2014.9.4)

【年通号数】公開・登録公報2014-047

【出願番号】特願2014-111127(P2014-111127)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	7/00	(2006.01)
A 6 1 P	7/06	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 K	33/26	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/16	(2006.01)
A 6 1 K	31/47	(2006.01)
A 6 1 K	31/4738	(2006.01)
C 1 2 Q	1/02	(2006.01)
C 1 2 Q	1/68	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
C 0 7 K	16/00	(2006.01)
C 0 7 K	19/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	7/00	
A 6 1 P	7/06	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	31/00	
A 6 1 P	37/04	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 K	33/26	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 K	31/16	
A 6 1 K	31/47	
A 6 1 K	31/4738	
C 1 2 Q	1/02	
C 1 2 Q	1/68	A
C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 0 7 K	14/47	
C 0 7 K	16/00	
C 0 7 K	19/00	

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月25日(2014.9.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

生体系におけるヘプシジン発現または活性を阻害する方法であって、Fcに融合された配列番号：24と少なくとも94%の同一性を有するアミノ酸配列を含むポリペプチドを含む融合タンパク質と、該生体系とを接触させ、それにより、該生体系におけるヘプシジン発現または活性を阻害する段階を含む、方法。

【請求項2】

生体系が、細胞、生体液、生体組織、および動物からなる群より選択される、請求項1記載の方法。

【請求項3】

生体系が動物であり、該動物が鉄過剰を示す、請求項1記載の方法。

【請求項4】

生体系が鉄欠乏を示す、請求項1記載の方法。

【請求項5】

FcがヒトFcである、請求項1記載の方法。

【請求項6】

FcがIgG Fcである、請求項1記載の方法。

【請求項7】

ポリペプチドが、配列番号：24と少なくとも99%の同一性を有するアミノ酸配列を含む、請求項1記載の方法。

【請求項8】

ポリペプチドが、配列番号：24と同一のアミノ酸配列を含む、請求項7記載の方法。

【請求項9】

生体系が、細胞、生体液、生体組織、および動物からなる群より選択される、請求項4記載の方法。

【請求項10】

鉄欠乏と関連した状態が、慢性疾患の貧血、鉄欠乏性貧血、機能性鉄欠乏、および小球性貧血からなる群より選択される、請求項4記載の方法。

【請求項11】

慢性疾患の貧血が、慢性細菌性心内膜炎、骨髄炎、リウマチ熱、潰瘍性大腸炎、腫瘍性障害、感染症、または炎症と関連する、請求項10記載の方法。

【請求項12】

感染症が肺膿症または結核である、請求項11記載の方法。

【請求項13】

炎症が、リウマチ様関節炎、全身性エリテマトーデス、クローン病、肝炎、または炎症性腸疾患によって引き起こされる、請求項11記載の方法。

【請求項14】

鉄過剰と関連した状態が、成人性ヘモクロマトーシスおよび若年性ヘモクロマトーシスからなる群より選択される、請求項3記載の方法。

【請求項15】

生体系が動物である、請求項1記載の方法。

【請求項16】

動物が哺乳動物である、請求項15記載の方法。

【請求項17】

哺乳動物がヒトである、請求項16記載の方法。

【請求項18】

動物が鉄過剰と関連した高いヘマトクリットを示す、請求項3記載の方法。

【請求項19】

動物が鉄過剰と関連した高い血清ヘモグロビンを示す、請求項3記載の方法。

【請求項20】

生体系が動物であり、該動物が鉄欠乏と関連した低いヘマトクリットを示す、請求項4記載の方法。

【請求項21】

生体系が動物であり、該動物が鉄欠乏と関連した低い血清ヘモグロビンを示す、請求項4記載の方法。

【請求項22】

生体系におけるヘプシジン発現または活性を阻害する方法であって、Fcに融合された配列番号：24の35～400位のアミノ酸と少なくとも94%の同一性を有するアミノ酸配列を含むポリペプチドを含む融合タンパク質と、該生体系とを接触させ、それにより、該生体系におけるヘプシジン発現または活性を阻害する段階を含む、方法。

【請求項23】

ポリペプチドが、配列番号：24の35～400位のアミノ酸と少なくとも99%の同一性を有するアミノ酸配列を含む、請求項22記載の方法。

【請求項24】

FcがヒトFcである、請求項22記載の方法。

【請求項25】

FcがIgG Fcである、請求項22記載の方法。

【請求項26】

生体系におけるヘプシジン発現または活性を阻害する方法であって、Fcに融合された配列番号：24の1～400位のアミノ酸と少なくとも94%の同一性を有するアミノ酸配列を含むポリペプチドを含む融合タンパク質と、該生体系とを接触させ、それにより、該生体系におけるヘプシジン発現または活性を阻害する段階を含む、方法。

【請求項27】

ポリペプチドが、配列番号：24の1～400位のアミノ酸と少なくとも99%の同一性を有するアミノ酸配列を含む、請求項26記載の方法。

【請求項28】

FcがヒトFcである、請求項26記載の方法。

【請求項29】

FcがIgG Fcである、請求項26記載の方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】配列表

【補正方法】変更

【補正の内容】

【配列表】

2014159478000001.app